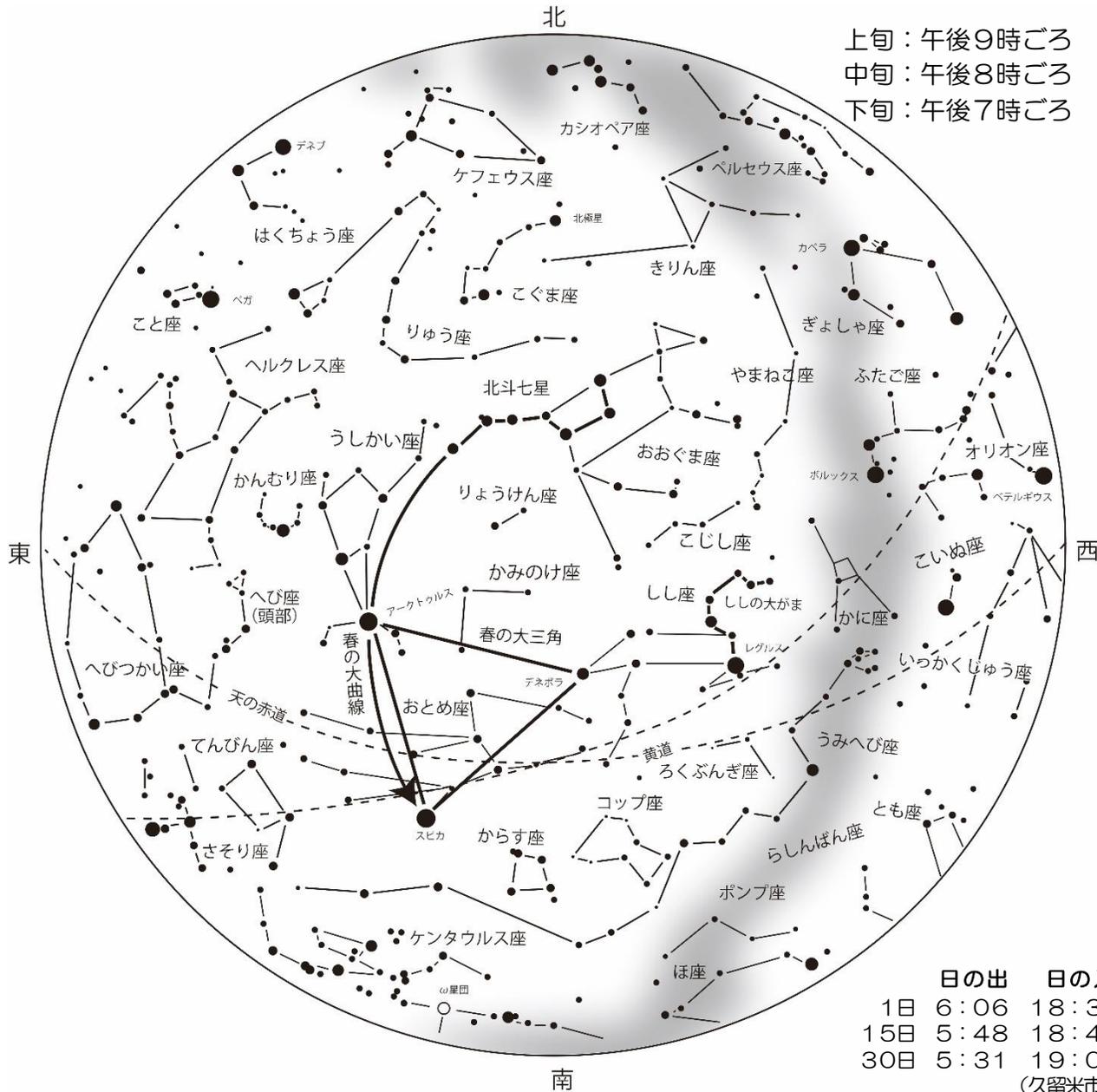


令和6年 5月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～

上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ



日の出	日の入
1日 6:06	18:38
15日 5:48	18:49
30日 5:31	19:00

(久留米市)

★5月の星空案内

初夏の風が心地よく感じられる5月、夜空を見上げて星を観察する「星空さんぽ」をするにも、よい季節となりました。さて、今月はどんな星や星座を見つけることができるでしょうか。

まず、春の星空でとても見つけやすい星の並び「北斗七星」を探してみましょう。北の空に見える7つの星で作る「スプーン」または「ひしゃく」のような形の星の並びが「北斗七星」です。北斗七星を形作る7つの星のうち6つが2等星で、明るい星が並んでいるので、とても見つけやすいです。北斗七星は**おおぐま座**の一部で、腰から尻尾の部分にあたります。北斗七星を見つけたら、その北斗七星の「スプーン」の持ち手の部分の星の並びをカーブに沿って南へのぼしていくと、オレンジ色に輝く**うしかい座**の1等星**アークトゥルス**を見つけることができます。さらに南へとカーブをのぼしていくと、白く輝く**おとめ座**の1等星**スピカ**を見つけることができます。北斗七星からアークトゥルスを通して、スピカまでのぼした大きなカーブは『春の大曲線』と呼ばれ、春の星座を探す目印になります。

春の大曲線から西の方に目をやると、白く輝く**しし座**の1等星**レグルス**があります。レグルスをたよりに「？」マークをひっくり返したような星の並びが見つかります。この星の並びは「**ししの大がま**」といい、しし座を見つける目印になります。レグルスは、このしし座の心臓の部分で明るく輝いています。

「北斗七星」や『春の大曲線』を手掛かりに、春の星座探しを楽しんでみてください。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (1.0 等前後)：うお座付近	観望に適さない。
金星 (-3.9 等前後)：うお座付近	観望に適さない。
☆火星 (1.1 等前後)：うお座→みずがめ座	日の出前、東の低空で輝く。(下旬)
木星 (-2.0 等前後)：おうし座付近	観望に適さない。
☆土星 (1.1 等前後)：みずがめ座付近	日の出前、南東の空で輝く。

注目の天文現象(5月)～月が土星に接近する様子を観察してみよう～

4月後半から、明け方の東の空に土星が見えるようになります。その土星に5月4日(土・祝)と5月31日(金)頃、月が近づきます。

5月4日は、明け方に東南東の低い空で、月が土星に近づく様子を見ることができます。土星も月も高い空に昇る前に夜明けを迎え、時間がたつにつれて空が明るくなるため見えなくなります。土星や月が見え始めるころは、空の低いところに見えるため、土星や月の高度がやや高くなる午前4時頃から探し始めると観察しやすいでしょう。低い空まで見える、東南東側がよくひらけた場所での観察がおすすめです。

また、5月31日(金)から6月1日(土)にかけても、月が土星に近づきます。夜明け前の東南東から南東にかけての空に注目してください。なお、この日は午前3時頃から4時頃が、観察しやすいでしょう。

早起きして、月と土星の共演を観察してみたいはいかがでしょうか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
1	水	☾ 下弦 (20:27)	15	水	☽ 上弦 (20:48)
8	水	● 新月 (12:22)	23	木	○ 満月 (22:53)
10	金	水星が西方最大離角	31	金	☾ 下弦 (02:13)